

# 栄養豊かな緑黄色野菜 ブロッコリーの カルシウム強化栽培！

品質向上！  
食味向上！  
鮮度保持！



ブロッコリーは機能性として抗酸化作用があり、  
ビタミンC・カロチン・カルシウム・鉄分・  
食物繊維など栄養素が豊富な健康野菜！！

【硫酸カルシウム肥料】



# カルゲン®

【粉状・粒状】 15 kg入り

## ブロッコリー栽培の特長

- ◆ 生育適温は 20℃前後と冷涼な気候を好む
- ◆ 耐暑性・耐寒性は割合あるが、5℃以下の低温や 25℃以上の高温が続くと生育が遅延する
- ◆ 花蕾の生育適温は 15℃～18℃程度、低温によって花芽を形成する（花芽分化）
- ◆ 低温に感応する生育段階と程度は品種によって異なる
- ◆ 適性土壌 pH は 5.5～6.5 で土壌は余り選ばないが、有機質に富み、保水力があり、排水の良い圃場を好む
- ◆ 微量元素欠乏（ホウ素欠乏）が発生し易いので十分に注意する（ホウ素欠乏が発生するとカルシウムの吸収は著しく低下する）
- ◆ 芯腐れ・空洞化の対策や鮮度保持にカルシウム（カルゲン）は有効な成分

## 養分吸収量（収穫 1 トン当たり） kg

チッソ N	リン酸 P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	カリ K <sub>2</sub> O	カルシウム Ca	マグネシウム Mg
6.4	3.7	9.5	3.4	1.0

## カルゲンとは・・・

- ◆ カルシウムとイオウが結びついた石膏（農業用石膏）を主原料に製造したカルシウム特殊肥料
- ◆ 酸性のカルシウム肥料ですから土壌の pH が上昇することなく、連用することで土壌を団粒化して、有効微生物の繁殖を促す
- ◆ 石灰類（炭カル）に比べ約 170 倍水に溶けやすく、作物に吸収されやすい水溶性のカルシウム肥料
- ◆ 作物が健全に生育するために必要なカルシウムの養分補給に最適
- ◆ 特に、窒素過剰による生育障害を軽減（拮抗作用）

## カルゲン施用量（当社推奨基準）

	施用方法	施用量	備 考
元 肥	全面土壌混和	2～4 袋/10 a	定植前（他の肥料と同時施用）
追 肥 1	畝間に施用	2 袋/10 a	定植後 30 日頃（土寄せ時）
追 肥 2	葉面散布 （ネオカル水和剤又は カルゲンβ液剤）	100～150ℓ/10a	1,000 倍液を 2～3 回散布 農薬と混用可能 （銅剤・アルカリ剤を除く）

☆ 上記の施用量は標準です。土壌診断を基準に施用量を増減してください。

☆ 酸性土壌の場合は石灰類等を加用してください。

☆ 詳しくは、お近くの販売店または営農指導員の方へお尋ねください。

《総販売元》



吉野石膏販売株式会社